

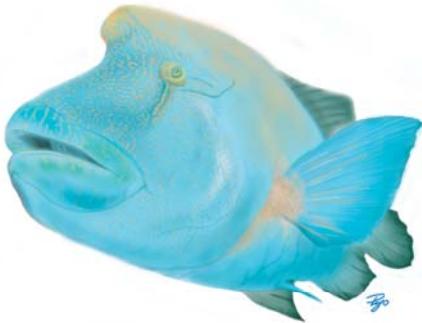
熊本地域医療センターだより

院長 廣田昌彦

熊本地域医療センター電話番号(代表) 096-363-3311 FAX 096-362-0222

平成30年(2018年)1月発行

通算152号
2018 1 月号



【ナポレオンフィッシュ】

熊本地域医療センター理念

かかってよかった。
紹介してよかった。
働いてよかった。 そんな病院をめざします。

CONTENTS

- 2面 外来栄養指導について
3面 親栄会・台湾旅行 / よかとこネット
4面 クリスマスコンサート

年頭の辞

一当院のセールスポイント



明けましておめでとうございます。昨年は、「全国標準を知ろう」「自分の病院を見つめ直そう」という目的で、医療機能評価を受審しました。審査に先立って私から病院の紹介をしましたが、その際に、私が「ここが良い」と思っているセールスポイントを10挙げました。

10番目から紹介します。⑩「1年中花が咲いている花壇」。少しもったいないですが、枯れかかるとすぐ次の新しい花に植え替えていただいている。⑨「本日の担当は私ですカード」。このカードのベッドサイドへの掲示により、今日の担当看護師が誰なのかを患者さんが認識することができます。⑧「多彩な職種の雇用」。外来コンシエルジュ、警察OB、臨床心理士、がん相談員、など多彩な職種の方に働いていただいている

す。⑦「院内デイケア」。高齢患者さんを集めてケアを行うことで、病棟看護師が急性期ケアや緊急入院業務に集中できるようになりました。患者さんも適度に疲れて夜の睡眠にもよいようです。⑥「患者会、家族会」。がんサロン「よかとこネット」、緩和ケア病棟家族会があります。⑤「熊本リージョナルネットと熊本グローバルライン」。リージョナルネットは病院と医師会会員をつなぐ仕組み、グローバルラインは病院と常勤医をつなぐ仕組みです。④「外科病棟ガーゼ交換の工夫」。リサイクリングと交差感染制御を両立させました。③「遅くとも朝8時には血液検査データが出ること」。日常業務が始まる前に次の一手を打つことができ、非常にありがとうございます。②「重症度、医療・看護必要度メーター」。毎日の重症度、医療・看護必要度をプロットしたグラフを電子カルテの第一画面に表示して、職員全員が重症度、医療・看

院長 廣田 昌彦

護必要度を意識するようにしました。ウィークデイは手術や諸治療が行われるので高くなり、ウィークエンドには手術や諸治療が行われないので低下することがわかりました。そして最後のNo. 1は「色による識別」です。まず看護師のユニフォームです。日勤（薔薇の花）と夜勤（孔雀の羽根）でユニフォームを変えて、on dutyの人とoff dutyの人を区別しています。また、注射器を用途別に色分けして、誤投与がないように工夫しています。

医療機能評価ではいくつかの要改善点のご指摘もありましたが、当「熊本域医療センターだより」に関して、『地震の時も途切れずに出し続けたのはすごい。』と最大級のお褒めの言葉をいただきました。医療機能評価は、私達が（私が）気づけなかったことを改めて認識させてくれました。今年もさらによい病院をめざして精進を続けてまいります。

栄養管理係長 関 香

平素より関係各位様からのご指導ご鞭撻ありがとうございます。

現在、当部門では、笹原先生の指導の下に、管理栄養士7名、調理スタッフ16名(調理、栄養事務兼務の栄養士4名含む・委託職員5名含む)で栄養管理(管理栄養士の仕事)、食事療養サービスを行っています。

◆入院患者さんへの対応

管理栄養士5名は、各病棟の栄養管理、栄養食事指導を担当しています。栄養管理計画書を作成し、食欲がない方や食事摂取量が少ない方へは、食事内容の見直しを行い、きめ細かな対応を心がけ食事量アップに努めています。

現在、入院患者の栄養指導件数は、200件/月程度になっています。

◇NST専従管理栄養士1名は、各病棟担当管理栄養士と協力し、多職種カンファレンスに参加、協働しながら疾病治療

促進や栄養状態、嚥下機能の改善、褥瘡予防治癒に取り組んでいます。毎週1回金曜日に、NST回診を行っています。

◆外来患者さんへの対応

外来栄養食事指導は1名専任を配置して行っています。件数は、30件/月程度です。食事療法が必要な患者さんを対象に、医師の指示に基づいて栄養食事指導を行っています。

対象疾患は、糖尿病、高血圧症、脂質異常症、肥満症、膵臓病、腎臓病、肝臓病、外科手術後や炎症性腸疾患の方、化学療法中で食思低下、低栄養状態、がん患者、小児食物アレルギーの方などがいらっしゃいます。

◇医師会会員の先生方からも、件数は多くありませんが時折、栄養指導のご依頼をいただいている。診療案内に『会員の先生方からの栄養指導依頼も受け付けています』と掲載していますが、私達の周知不

足があるかと思っています。

栄養指導だけでも診療報酬は認められていますので診察がなくてもご依頼いただけます。初回は指導時間おおむね30分以上、2回目以降おおむね20分以上となっています。食事療法の意義や必要な食事量をとって頂くための方法や料理メニューなどについても指導させていただきます。食事指導が必要な患者さんへの動機づけにもなると思います。ぜひ、栄養指導が必要な患者さんがいらっしゃいましたらご紹介ください。

栄養指導後は、指導内容や患者さんの反応などについてご報告させて頂いています。

今後は地域医療にも貢献できるような栄養管理、栄養食事指導の充実を目指していきたいと思っています。医師会の先生方ははじめ、関係各位の皆様方のご協力並びにご指導よろしくお願ひいたします。

院外からの栄養指導の依頼

※医師会会員の先生からの依頼

◎当院の受診歴がない方でも栄養指導だけの依頼は可能です。

連絡先：熊本地域医療センター栄養指導予約
代表電話：096-363-3311

栄養管理・調理部門(内線1611・1612)へ電話で予約をしていただきます

予約日調整

氏名、生年月日、性別、当院の受診歴の有無→必要事項聴取(指導希望疾患名、身長、体重他)→栄養指導依頼完了

※当院来院時には、紹介状(病歴や検査データ他)持参

栄養指導後

栄養指導記録報告書作成し、依頼元へ送付致します

外来栄養相談のご案内

◎食生活でお困りのことはありませんか？

治療や予防のために食事の制限が必要な方には食事内容を評価した上でアドバイスや相談を行っています。

また・噛みにくい、飲み込みにくいから食べたくない
・治療に伴い食事が入らない
・体重が減る一方などの食生活の悩みをサポートします

◎対象疾患

糖尿病・肝臓病・心臓病・胃潰瘍・十二指腸潰瘍
脂質異常症(LDL-cho 140 mg/dl以上またはHDL-cho 40 mg/dl未満、中性脂肪 150mg/dl以上)
高度肥満(肥満度 70%以上またはBMI 30以上)
腎臓病・消化器術後・膵臓病・潰瘍性大腸炎
クロhn病・がん疾患・摂食嚥下機能低下・低栄養

◎時間・料金について

1回30分程度	料金(資料代等含みます)	
	初回	2回目以降
1割負担の方・・・・	260円	200円
2割負担の方・・・・	520円	400円
3割負担の方・・・・	780円	600円

卒後臨床研修医 久保崎 順子

11/17～19の二泊三日で台湾の高雄へ職員12名で行ってきました。高雄は熊本市と友好交流協定を結んでおり、熊本空港から高雄空港へ2時間半の直通便があります。現地は蒸し暑く、夏服で夜市へ繰り出しました。夜市には海鮮や肉類（蛙や蛇も！）、麺類など様々な屋台が並び、独特なにおいも印象的でした。翌日は貸し切りバスで観光名所をめぐりました。「9」の数字は縁起が良いとされることから9回曲がる橋（蓮池潭）、龍の口から入り虎の口から出る龍虎塔など、台湾独特の縁起物も興味深く楽しめました。寄付だけで作られているという沸光山の巨大な金色の大仏

は圧巻で、台湾の仏教信仰を象徴していました。その他、寿山公園、澄清湖、西子湾、旧英國領事館などを巡り、台湾の歴史に触ることができました。昼食は客家料理という伝統料理をいただき、日本料理とも中華料理とも違う新鮮な味覚に舌鼓を打ちました。

最終日は三鳳宮という道教

の寺院へ行き、中には仏教の神様も祭られていたり、それぞれの生まれ年に固有の神様がいたりと、台湾独特的宗教文化を堪能しました。

普段かかわりあうことの少ない職員間の親睦も深めることができ、有意義な楽しい旅となりました。



がんサロン「よかとこネット」

平成28年に「第一回 膵臓がん長生きの会」を開催し、昨年10月に第二回を開催しました。ご家族を合わせ24名の参加がありました。術後3年以上、再発転移のない方を対象に呼びかけていましたが、参加申し込みには、現在抗がん剤治療中の方々も数人おられ、当日のグループ分けに悩みました。しかし当日は、術

後5年目の方も、抗がん剤中の方も関係なく打ち解け、治療中のこころの持ち方や生活について工夫している点等それぞれの経験を話されました。中でも、術後再発転移なく8年経過している90歳になるKさんは一人暮らしで、「出来ることは自分ペースで何でも行っています」と笑顔で話されており、参加者の方々の目標となる存在になりました。初参加の方、2年連続参加の方も皆さん「また来年お会いしましょう」と笑顔で語り合っていました。

当センターは、廣田院長赴任後より、膵臓がんの手術件数も増え、

外来看護師 萩平 桂子

また3年以上再発転移なく経過している方達も20名以上いらっしゃいます。世間の膵臓がんのイメージはあまりよくないと思いますが、実際、治療後、治療中の方達は生き生きと自分らしく生活を送られています。そのような姿をこの長生きの会や、当センターのがんサロンでお会いし話を聴いていくことで、私たちの成長と学びに繋がっています。平成30年も第三回を企画し皆さんにお会いしたいと思います。また、当センターのがんサロンは第一金曜日の14:00～15:30で、毎回テーマを決め、アットホームな雰囲気の中開催しています。「来て良かった」と思える会ですので是非遊びに来てください！





12月7日(木)、冬のひだまりがことのほか暖かく感じられる寒冷の季節、秋桜倶楽部の皆様によるクリスマスコンサートを開催いたしました。結成15年目の秋桜倶楽部の皆様は、当院では14回目になるトーンチャイムによる演奏を披露されました。トーンチャイムは、オルゴールのような美しい音色で、数人で音を分担して、やわらかく美しい音を奏でます。



さんも一緒に音を口ずさんで、会場が一つになった瞬間は素晴らしい、あたたかい拍手でつつまれました。

第一部は「冬のメドレー～冬景色・雪・お正月」で始まり、「夜明けのスキヤット」「オルゴール」「花は咲く」と気持ちのこもった演奏が続いた後に、トーンチャイムの体験コーナーがありました。患者さんは、音色に惹き付けられたように、トーンチャイムを手にし、きらきら星の演奏に挑戦されました。一人一人の心を合わせて、トーンチャイムの音色が響き、周りの皆

さんも一緒に音を口ずさんで、会場が一つになった瞬間は素晴らしい、あたたかい拍手でつつまれました。

第二部は、聴き馴れたクリスマスメドレーの演奏で、子供さんもリズムに合わせて、楽しそうに手をたたいておられました。

患者さんやご家族の方に参加頂いて、こころ安らぐ時間を過ごしたクリスマスコンサートとなりました。



次回の**熊本地域医療センター勉強会**のお知らせ

日時／1月22日(月) 19時開始

場所／熊本地域医療センター本館2階多目的ルーム

消化器内科・古閑 瞳夫 先生
「超音波内視鏡について」

CC 9:医療情報

院長:廣田 昌彦
発行責任者:地域医療連携室長 柳 文治
熊本地域医療センター〒860-0811 熊本市中央区本荘5-16-10
電話番号(代表) 096-363-3311 FAX 096-362-0222
電話番号(直通) 096-366-1323 FAX 096-363-3416
E-mail:renkei@krmc.or.jp ホームページアドレス:<http://krmc.or.jp>

編集後記

Y@新年明けましておめでとうございます。廣田院長の「年頭の辞」、栄養科の「院外からの栄養相談」は是非ご一読ください。「よかとこネット」も当院の特徴を紹介しています。今年も患者さんのご紹介をよろしくお願いいたします。
S@年末年始、ご出勤いただいた先生方、誠にありがとうございました。
R@数年ぶりに忘年会やら新年会やらが続きました。12月中に健康診断受診済みだったからよかったけど、案の定増量してしまいました…